

要 旨

試験委託者

環境庁

表 題

フタル酸ジ-*n*-ヘプチルのオオミジンコ (*Daphnia magna*)に対する急性遊泳阻害試験

試験番号

PRO/NO2/0302

試験方法

本試験は、OECD 化学品テストガイドライン No.202「ミジンコ類，急性遊泳阻害試験および繁殖試験」（1984年）に準拠して実施した。

- 1)被験物質： フタル酸ジ-*n*-ヘプチル
- 2)暴露方法： 半止水式（24時間後に試験液の全量を交換）
- 3)供試生物： オオミジンコ (*Daphnia magna*)
- 4)暴露期間： 48時間
- 5)連数： 1 濃度区につき 4 連
- 6)生物数： 20頭／1 濃度区（1 連につき 5 頭で 1 濃度区 20頭）
- 7)試験濃度： 対照区，助剤対照区(3.37mg/L)，0.18mg/L，0.32mg/L，0.58mg/L，1.04mg/L，
（設定値） 1.87mg/L および 3.37mg/L（公比 1.8）
- 8)試験液量： 100 mL
- 9)照明： 16時間明／8時間暗
- 10)試験水温： 20±1℃

結 果

1)24 時間暴露後の結果

24 時間半数遊泳阻害濃度(EiC50)=1.17mg/L (95%信頼区間：0.83mg/L～1.79mg/L)

（有意水準 5 %、統計的手法：吉岡義正教授 Probit 法）

2)48 時間暴露後の結果

48 時間半数遊泳阻害濃度(EiC50)=0.37mg/L (95%信頼区間：0.24mg/L～0.53mg/L)

最大無作用濃度(NOECi)=0.09mg/L

（有意水準 5 %、統計的手法：F & t-test, Yukums 統計ライブラリ-I 統計解析編）

100%阻害最低濃度は、3.18mg/L より高い濃度であると推定された。

（上記濃度は、全て試験開始時と 24 時間後の実測濃度の指数平均値に基づく値）